

2014年 浅口市議会 3月定例会

日本共産党 桑野和夫議員 発言と当局答弁など

平成26年第1回 3月定例会 - 03月04日 - 01号

平成26年第1回 3月定例会

平成26年3月浅口市議会第1回定例会会議録（第1）

1. 招集年月日 平成26年3月4日（初日）
1. 招集の場所 浅口市役所議場
1. 開 会 3月4日 午前9時30分
1. 議事日程
 - 第 1 会議録署名議員の指名について
 - 第 2 会期の決定について
 - 第 3 諸般の報告
 - 第 4 市長政務報告
 - 第 5 委員長報告（質疑）
 - 総務文教常任委員会
 - 民生常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 鴨方駅周辺整備調査特別委員会
 - 第 6 発議第 1号 浅口市地酒の普及を促進する条例の制定について
 - 第 7 承認第 1号 専決処分した事件の承認について
(和解及び損害賠償額の決定について)
 - 第 8 承認第 2号 専決処分した事件の承認について
(和解及び損害賠償額の決定について)
 - 第 9 承認第 3号 専決処分した事件の承認について
(和解及び損害賠償額の決定について)
 - 第10 承認第 4号 専決処分した事件の承認について

(和解について)

第11 議案第 1号 浅口市職員の定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定について

第12 議案第 2号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例及び浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

第13 議案第 3号 浅口市鴨方障害者共同作業所条例の一部を改正する条例について

第14 議案第 4号 浅口市営駐車場条例の一部を改正する条例について

第15 議案第 5号 浅口市営駐輪場条例の一部を改正する条例について

第16 議案第 6号 モーターボート競走の施行について

第17 議案第 7号 平成25年度浅口市一般会計補正予算(第4号)

第18 議案第 8号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

第19 議案第 9号 平成25年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

第20 議案第10号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第3号)

第21 議案第11号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

第22 議案第12号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第2号)

第23 議案第13号 平成26年度浅口市一般会計予算

第24 議案第14号 平成26年度浅口市国民健康保険特別会計予算

第25 議案第15号 平成26年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算

第26 議案第16号 平成26年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

第27 議案第17号 平成26年度浅口市介護保険特別会計予算

第28 議案第18号 平成26年度浅口市公共下水道事業特別会計予算

第29 議案第19号 平成26年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算

第30 議案第20号 平成26年度益坂財産区特別会計予算

第31 議案第21号 平成26年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算

第32 議案第22号 平成26年度浅口市水道事業会計予算

第33 議案第23号 市道路線の認定について

第34 議案第24号 市道路線の変更について

第35 報告第 1号 長期継続契約の締結状況について

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第 1 会議録署名議員の指名について (2番、3番)

日程第 2 会期の決定について (17日間)

日程第 3 諸般の報告

日程第 4 市長政務報告

日程第 5 委員長報告(質疑)

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

○鴨方駅周辺整備調査特別委員会

- 日程第 6 発議第 1号 浅口市地酒の普及を促進する条例の制定について
(上 程)
- 日程第 7 承認第 1号 専決処分した事件の承認について
(和解及び損害賠償額の決定について)
(")
- 日程第 8 承認第 2号 専決処分した事件の承認について
(和解及び損害賠償額の決定について)
(")
- 日程第 9 承認第 3号 専決処分した事件の承認について
(和解及び損害賠償額の決定について)
(")
- 日程第10 承認第 4号 専決処分した事件の承認について
(和解について) (")
- 日程第11 議案第 1号 浅口市職員の定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定について
(")
- 日程第12 議案第 2号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例及び浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
(")
- 日程第13 議案第 3号 浅口市鴨方障害者共同作業所条例の一部を改正する条例について
(")
- 日程第14 議案第 4号 浅口市営駐車場条例の一部を改正する条例について
(")
- 日程第15 議案第 5号 浅口市営駐輪場条例の一部を改正する条例について
(上 程)
- 日程第16 議案第 6号 モーターボート競走の施行について (")
- 日程第17 議案第 7号 平成25年度浅口市一般会計補正予算(第4号)
(")
- 日程第18 議案第 8号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
(")
- 日程第19 議案第 9号 平成25年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
(")
- 日程第20 議案第10号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第3号)
(")

- 日程第21 議案第11号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
(〃)
- 日程第22 議案第12号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第2号)
(〃)
- 日程第23 議案第13号 平成26年度浅口市一般会計予算 (〃)
- 日程第24 議案第14号 平成26年度浅口市国民健康保険特別会計予算
(〃)
- 日程第25 議案第15号 平成26年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算
(〃)
- 日程第26 議案第16号 平成26年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
(〃)
- 日程第27 議案第17号 平成26年度浅口市介護保険特別会計予算
(〃)
- 日程第28 議案第18号 平成26年度浅口市公共下水道事業特別会計予算
(〃)
- 日程第29 議案第19号 平成26年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算
(〃)
- 日程第30 議案第20号 平成26年度益坂財産区特別会計予算 (〃)
- 日程第31 議案第21号 平成26年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算
(上 程)
- 日程第32 議案第22号 平成26年度浅口市水道事業会計予算 (〃)
- 日程第33 議案第23号 市道路線の認定について (〃)
- 日程第34 議案第24号 市道路線の変更について (〃)
- 日程第35 報告第1号 長期継続契約の締結状況について (〃)

1. 出席議員 (4番欠番)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1番 伊澤 誠 | 2番 佐藤 正人 |
| 3番 竹本 浩司 | 5番 岡邊 正継 |
| 6番 平田 襄二 | 7番 桑野和夫 |
| 8番 加藤 淳二 | 9番 原 彰 |
| 10番 中西 美治 | 11番 柚木 毅 |
| 12番 藤澤 健 | 13番 青木 光朗 |
| 14番 大西 恒夫 | 15番 田口 桂一郎 |
| 16番 畑中 知時 | 17番 香取 良勝 |
| 18番 井上 邦男 | 19番 道廣 裕子 |
| 20番 高橋 範昌 | 21番 大西 洋平 |

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名(なし)

1. 欠席議員(なし)

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

市長	栗山康彦	副市長	田村諭
教育長	城山藤一	企画財政部長	秋田裕
生活環境部長	原田健次	健康福祉部長	襟立憲道
産業建設部長	松田勝久	上下水道部長	垣内長
金光総合支所長	河手秀夫	寄島総合支所長	應本秀文
教育次長	榎田忠	会計管理者	筒井正和
総務課課長補佐	武弘一		

1. 出席した事務局職員

議会事務局長	小西通夫	書記	園部智
書記	奥原貴子		

1. 会議録署名議員の番号、氏名

2番	佐藤正人	3番	竹本浩司
----	------	----	------

午前9時30分 開会

○議長(柚木毅) これで質疑を終わります。

次に、民生常任委員会よりお願いします。

桑野委員長。

◆民生常任委員会委員長(桑野和夫) 民生常任委員会委員長報告をいたします。

平成26年2月13日木曜日午前9時30分から開催しました。

本委員会に付託された議案の審査経過と結果については次のとおりであります。

1、請願・陳情について。

請願第8号国に対して最低賃金引上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書、陳情第15号安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情、陳情第16号介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情、これら3件については慎重に審査する必要があるため、継続審査とすることに決しました。

以上、概要を報告します。

平成26年3月4日、民生常任委員会委員長桑野和夫。

○議長(柚木毅) 民生常任委員会委員長からの報告についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

平成26年第1回 3月定例会 - 03月11日 - 03号

平成26年第1回 3月定例会

平成26年3月浅口市議会第1回定例会会議録(第3)

1. 招集年月日 平成26年3月11日(8日目)

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 3月11日 午前9時30分

1. 議事日程

第1 一般質問

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 一般質問

1. 出席議員 (4番欠番)

1番 伊澤 誠	2番 佐藤 正人
3番 竹本 浩司	5番 岡邊 正継
6番 平田 襄二	7番 桑野和夫
8番 加藤 淳二	9番 原 彰
10番 中西 美治	11番 柚木 毅
12番 藤澤 健	13番 青木 光朗
14番 大西 恒夫	15番 田口 桂一郎
16番 畑中 知時	17番 香取 良勝
18番 井上 邦男	19番 道廣 裕子
20番 高橋 範昌	21番 大西 洋平

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名(なし)

1. 欠席議員(なし)

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

市長 栗山 康彦	副市長 田村 諭
教育長 城山 藤一	企画財政部長 秋田 裕
生活環境部長 原田 健次	健康福祉部長 襟立 憲道
産業建設部長 松田 勝久	上下水道部長 垣内 長
金光総合支所長 河手 秀夫	寄島総合支所長 應本 秀文
教育次長 榎田 忠	会計管理者 筒井 正和

1. 出席した事務局職員

議会事務局長 小西 通夫	書記 園部 智
--------------	---------

書記

小橋 史明

書記

奥原 貴子

午前9時30分 開議

○議長（柚木毅） おはようございます。

ただいまの出席議員は20人であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

ここで私から一言申し上げます。

本日で東日本大震災の発生から3年が経過いたします。いまだ不自由な生活を余儀なくされている被災地の方々には一刻も早く復興、復旧が進みますことをお祈りいたしたいと思っておりますとともに、ここで亡くなられた方々に対しまして、黙祷をささげたいと思っております。

[黙 祷]

~~~~~

○議長（柚木毅） 御苦労さまでした。

次に、7番桑野和夫議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） きょうは3月11日でありまして、未曾有の大災害となりました東日本大震災から3年という日であります。私は昨年5月に、宮城県の南三陸町に行きまして被災地支援を行い、災害の恐ろしさを目の当たりにしてきました。改めて犠牲になられた方々に哀悼の意を表明するとともに、被災地の一刻も早い復興を期待したいと思っております。

それでは、通告に従いまして質問をします。

今回私は、昨年末に日本共産党浅口市議団が行いました市民アンケートの結果について後ほど報告をいたしますので、市長の感想をお聞きすること。それから、学力向上No.1プロジェクト及びこれに関連した夏休みの短縮についてお聞きをします。3点目は、インターネットを活用した市民サービスについてお聞きをします。明快な答弁をお願いいたします。

まず、市民アンケートであります。これは昨年末に市内5,500世帯に無作為で配布をしました。結果、277通が郵送をされて返送されてきたものであります。結果であります。議長の許しを得まして、パネルの使用と資料を配付させていただいておりますので、それをごらんください。

まず、1問目であります。日々の暮らしは以前と比べてどうかと尋ねました。69%の方が苦しくなったと答え、変わらないが27%、楽になったと答えたのはわずか2%でありました。これはアベノミクスの効果がなく、低賃金や年金の削減の影響があると思っております。さらに、この4月からは消費税が5%から8%になります。そして、年金が昨年末に続いてさらに0.7%削減をされる。後期高齢者医療制度の保険料が値上げをされる。さらには、70歳から74歳の方の医療費の窓口負担が、4月以降70歳になる方から順番に1割から2割になります。こういうふうさらに暮らしが大変になることは必至であります。一層、命と暮らしを守る市政の実現が求められていると思っております。

次に、2つ目に苦しくなった原因を尋ねたところ、1位が国民健康保険税、介護保険料増で、2番目に年金が目減りした、3位が退職して年金生活でありました。

次に、今浅口市政で何を特に力を入れて重視してほしいかを尋ねましたが、介護保険料、利用料の軽減がトップで、次が国保税の引き下げ、そして次に高齢者福祉の充実が来ております。

続いて、4番目に子育てや教育にかかわる施策について、何を望むかお聞きをしました。1位がいじめや不登校対策で、2位が学力の充実、3位が通学路の安全対策でありました。

それから次に、5番目としまして高齢者や障害者の福祉の施策については、施設の整備がトップで、次に道路や駅等のバリアフリー化で、そして3番目に高齢者、障害者の雇用促進が来ました。

次に、直接市長には関係いたしません、市議会議員に何を望むかお聞きをしたところ、1位が市政、税金の使い方のチェック、2位が市民の声を届ける、それから3位が清潔、公正な姿勢となりました。

それから次に、4月からの消費税の増税については反対が68%と圧倒しました。

それから次に、原発についてお聞きをしましたが、即時廃止と段階的に廃止を加えると86%の方が廃止というふうな考え方を示しました。

最後に、憲法9条についてお聞きをしました。第9条を守るが64%となりました。

以上がアンケートの結果ですが、この結果をごらんになって、まず市長の感想をお聞きをしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（柚木毅） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） それではまず、市民アンケートについてお答えをいたします。

一般的に、市民アンケートの実施は市政に関する市民からの御提案や意見などの市民ニーズを把握するとともに、市政への反映が可能となる大切なものであります。市民参加、協働によるまちづくりを進める上で大変重要であるというふうに考えます。私も市民の皆様の生の声を聞くことが市政の基本であると考え、これまでランチミーティングや地区総会等への参加、そして広報紙での市政に一言などを通じ、多くの市民の皆様から貴重な御意見や御提案をいただくことができ、市政への参考にさせていただいております。このアンケート結果も、市民の皆様の声として市政への参考にさせていただきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） ぜひ市民の意向に沿った市政運営を求めていきたいと思っております。

次の質問に入ります。

次に、学力向上No.1プロジェクトと、このプロジェクトに関連をしております夏休みの短縮についてお聞きをします。

学力No.1プロジェクトは8つの柱があるようではありますが、きょうは其中で、主に放課後を使つての基礎学力の向上を図るという方針での放課後学力サポート事業と、長期休業中を利用して行うホリデーわくわく学習支援事業についてお聞きをします。

この2つの事業は平成25年度の途中から実施をされていますが、ざっとで結構ですので、各学

校でのこの2つの事業の実施内容とこの事業での教育委員会の評価についてお聞きをします。

○議長（柚木毅） 答弁。

教育次長、どうぞ。

◎教育次長（榎田忠） 学力No.1プロジェクトの内容と評価についてのお尋ねでございます。

実は、2月20日に学力向上No.1プロジェクトの研究委員会を設けておまして、そこから教育委員会のほうへ答申書が提出されました。その内容としましては、知徳体の調和ある子供の育成を目指してこれまで積み重ねてきたものに、新たな角度から具体的な事業を取り入れたということでございます。議員さんお尋ねのことにつきましては、学力の学習時間の増加を目指すことという項目がございまして、小学校において放課後の学習を設定し、児童の個々の課題に応じた学習の時間を確保するという取り組みさせていただきました。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） そういう方針はわかるんですけども、具体的に学校でどういう格好で授業をしたり、公民館を使ってやったかということをもう少し詳しく教えてください。

○議長（柚木毅） 教育次長。

◎教育次長（榎田忠） 公民館に関しましては地域の方の御協力を得まして、例えば夏休み中に課題が出ます。子供たちにとっては、得意な子供もおればそうでない子供もおります。例えば公民館で読書感想文、これなかなか私も子供の時分にどう書こうかなと悩んだ部分がございます。そういうときに図書館の職員が指導したり、それから俳句や短歌の地域の指導者の方、そういう方に来ていただいて学習をしたり、それから美術とか図画工作、そういうことの地域の方、文化活動をされてる方がおられますので、そういう方の御助力をいただきながら子供たちの学習意欲を育てたというふうに思っております。私も現場を見させていただきました。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 夏休みの事業はわかりましたが、放課後学習サポート事業はどのような格好でやられたのかお聞きします。

○議長（柚木毅） 教育次長、どうぞ。

◎教育次長（榎田忠） 先ほども簡単に申しましたが、詳しいことは学校の現場の先生方に頑張ってもらっているんですが、私は教育職ではないんで詳細には、学習の方法についてはちょっと答えにくい部分がございますけど、報告を受けておりますのは児童のそれぞれの課題、例えば算数とか、どうしても得意な子とそうでない子がございますので、そういう部分の個々の課題を、特に重点的に放課後では学習をして、子供たちの底上げを図るというふうな取り組みを行ったというふうに聞いております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 余りよくつかまれてないようですけども、事前に学校教育課から資料をいただいて見たところによりますと、各学校でいろいろやり方が違いますが、金光吉備小学校は1年生、2年生、3年生、4年生全員を対象にしていますが、これ以外は各学年、学年いろいろありますが希

望者を対象にやっつけられまして、主に国語と算数、それからそれにやり方は教員も含めて支援員が学習指導に当たるという格好でやられとるようであります。

少し話を変えますが、来年度から小・中学校での夏休みを1週間短縮するようではありますが、これは何のために短縮されるのかお聞きします。

○議長（柚木毅） 答弁。

教育次長、どうぞ。

◎教育次長（榎田忠） 学習時間の増加を図りたいというふうに考えております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） わかりました。

この学力向上No.1と、先ほど答弁がありました夏休みを短縮する件についてであります、どういう形で議論をしてどういうふうに決められたのか、その過程についてお聞きをします。

○議長（柚木毅） 教育次長。

◎教育次長（榎田忠） 夏休みにつきましては長い歴史がございました。それを変えるというのは非常に決断としては勇気の要ることもございますし、子供たちや地域の生活習慣を変えることでもあろうというふうに思っております。

その内容につきましては、先ほど申し上げましたプロジェクトによりまして、先ほど議員さんもおっしゃった補充学習を行った子供たちの反応や感想、そういうものからして学習時間をふやすことが効果があるものというふうにプロジェクトで判断をいたしました。それに加えまして、さきの議会でも話がありました普通教室にエアコンの設置をしていただけると、各普通教室にするということで、今夏休みが非常に暑いんですが、その対応も可能になると。浅口市としてそういうものがエアコンの早い取り組みをしていただきましたので、夏休みとしても涼しい環境でできるというふうな判断をいたしました。

それから、過程のこともお尋ねですが、先ほども申しましたようにいろいろな変化を伴うものがございますから、校長会、それから教育委員会、それぞれ十分な時間をかけて慎重に審議を行いました。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 過程で、校長会とか教育委員会でしっかり議論するというふうにお聞きしましたが、決定する過程の中で現場の教員とか、あるいはPTAの方とか、そういう方の意見は聞かれたのかどうかお尋ねをします。

○議長（柚木毅） 教育次長。

◎教育次長（榎田忠） 校長会とか教育委員会に直接現場の方が出るわけではないのですが、校長会も1回したわけではなくて、最初にお話をして、その校長にその意見を持って帰っていただいたり、最初はすぐに校長会を開きましても、やっぱり持ち帰って検討したいという校長さんもおられました。ですから、その中で現場の意見も集約をされて、最終的には校長さんが御了解をいただいたというふうに理解をいたしております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） わかりました。

それでは、もう少し放課後学習サポート事業とホリデーわくわく学習支援事業について具体的にお聞きます。

この事業は先ほど申しましたように、吉備小学校は全員を対象であります。それ以外は基本的には希望者を対象しております。となると、受講を希望するのは勉強ができる子とかあるいは勉強が好きの子、そういうふうな子が恐らく積極的に受講をするんだと思います。そうすると、余り勉強が好きでない子は受講が少なくなるのかなという気がしますが、そうなりますとできる子とできない子の格差が広がる可能性があります。その辺はどうなんでしょうか。

○議長（柚木毅） 教育次長。

◎教育次長（櫛田忠） 放課後学習について、好きでない子が希望せずにそうでない子が希望するので差ができるのではないかというふうなお尋ねでございます。

私も学校現場からとか学校教育課長から報告を受けておりますが、放課後、下校時間のことがありますので、その関係で安全対策も考える必要がございました。親御さんも心配される方もおられますので、安全の部分も含めてそういう親御さんからの希望ということも考えたこともございます。

それから、子供たちはどうしても放課後に行事がございます。ですから、その分でそっちのほうを優先される親御さんもおられますので、好きな子、嫌いな子というふうな観点では教育委員会のほうでは捉えてなくて、その辺の部分配慮して放課後学習のほうを取り組んだと。一つの考え方として、その放課後学習の時間をふやすということを今度夏休みをふやすというふうなことに発展させた一つの理由は、やっぱり今度登校日になりますんで、登校日だと今議員さんがおっしゃったように全員参加に必ずなりますから、その部分も夏休みをふやすことによって解消されていくんじゃないかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 希望者なんで、受ける子と受けない子が出てくるんですね、恐らく。その辺で勉強が好きな子は受ける子が多いんだと思うんで、格差は広がらないということを質問したんで、教育長どうでしょう。

○議長（柚木毅） 教育長、どうぞ。

◎教育長（城山藤一） 議員さんがおっしゃるような危惧があることは確かであります。私もそのあたりを危惧しておる面がございます。ただ、ある学校では全員が、私も見に行きましたけれども、全員がこの放課後学習をやっておる学校もございました。ただ、今年度は最初の年度でございますので、いろいろな問題がありますので学校の状況、学校の思いを考えて、市内全体で必ずこのようにしなさいというような言い方はしておりませんので、その研究委員会で研究をしたことに基づいて、No.1計画の研究委員会には学校の教諭も参加しております。教頭も校長も参加しております。そして、そういう人たちが研究、協議をしたのを学校に持ち帰って、広くまた意見を聞き、最終的にはこの研究委員会で決めていただきました。そういうような意味で初年度でありますので、問

題がどのようなところへ実際に問題があるかというようなことを確認しながら、次年度に向けて、次年度ではなるべく大勢の児童・生徒が参加できるように考えなければならないと。ただ、全員が参加できるということは非常に難しいことであろうかと思えます。そういう意味で先ほど次長が言いましたように、夏休みを短縮して全員が参加できる日にちをふやすと、そういう機会をふやすというようなことも考えられたわけでございます。

追加ですけれども、夏休みを短縮した市町村がほかにもあるかないかということですが、調査によりますと最大4日間短くしておる市もございまして、それから1日、2日ぐらいを短くしておるところもございまして、浅口市のように1週間丸々短くすると、しかも教育委員会の規則を変えて正式に短縮するという市はございません。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 夏休みの短縮についての他の市町村の動向はまだ聞いてないんで、それは、ぜひできる子も伸ばすし、特にできない子に勉強に興味を持っていただいて参加できるようにしてほしいと思えます。

それから、希望者だけですから、全員で登校したり集団で下校したりすることができません。安全対策上はどういうことをされてるのか、お聞きをします。

○議長（柚木毅） 教育長。

◎教育長（城山藤一） これも通学する距離が非常に長い学校もございまして、短い学校もございまして、それから、登下校の見守りができておる学校、余りそれはできていない学校もございまして、そういうような学校の状況に応じまして、そのあたりを各学校で考えて実施していただいております。何にも増して安心・安全な下校が大切でございまして、そのあたりは学校の状況によっております。ただ、これ私いつも思うんですけれども、見守りをしておるといっても集団の登下校をしておるといいましても、校門を出るときには集団で5人、7人と下校する子供は多いですけれども、家の近くに帰ると、近くと言わなくても校門を出ると間もなく、それは三々五々ばらばらになって終わりごろは1人、2人で帰るといような状況もあろうかと思えます。それから、放課後学習を自由に勝手にやってもいいというわけではございません。ともかくも、下校の安全は十分に考えていただいて実施しておるつもりでございまして。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） ぜひ子供の安全対策上をしっかりと配慮してほしいと思えます。

それから、学習時間は実際にこういう授業をするとふえるんですけども、例えば教員とか子供に負担にならないかどうか、その辺はどうお考えかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 答弁を。

教育次長、どうぞ。

◎教育次長（櫛田忠） 先生方の負担についてですが、確かに大変なこともあろうと思えます。夏休み中に、今まで生徒が登校しないときに生徒が登校するわけですから、先生方の御負担に応える

ためにもこの事業を成功させたいなというふうに思っております。先生方につきましてはそこはもとも勤務時間でございますので、そこは御理解をいただきたいと思っております。

子供の負担ということもお尋ねでございますが、学習をして学習の時間をふやすということでございますので、子供にとって負担かどうかという観点で見るというよりは、学力の向上のために子供たちも、そこは学習時間をふやして頑張ってもらいたいというふうには思っております。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 夏休みが来年度から短くなりますよね。短くした上にこの夏休みのホリデーわくわく事業もさらにするのかどうか、その辺はどうでしょうか。

○議長（柚木毅） 教育長、どうぞ。

◎教育長（城山藤一） 先ほどもちょっと申しましたように、こういう事業をやりましたけれども、今までやったことがない、全くやったことがないことはありませんけれども、組織的にやったことがなかったことですので、1年間を振り返りまして、来年のことにつきましては改善すべきところがあれば十分に考慮していきたいと思っております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 最後になりますが、私は最近のこの文部科学省の教育方針とか、あるいは浅口市の教育委員会の方向は、どうも子供に無為な時間を与えるなというふうなことに思えてなりません。子供への教育は点数を上げるだけじゃなくて、人間としてたくましく生きる力をつけさせることだと思いますし、そして学力を上げるためには教員に子供と向き合える時間をしっかり保障をし、同時にみずから教員として成長できる環境を保障することだと思います。国連子どもの権利条約で休息、余暇、遊びを子供の権利として位置づけています。思えば最近子供たちは、いかに遊びとゆとりを奪われていることでしょうか。学力テストの点数を上げるために繰り返されるテストや宿題、そして塾通い、こういうことがいじめや不登校のきっかけになるんじゃないでしょうか。追い立てられずにのんびり過ごす時間は、子供にとっても大人にとっても必要なことだとも思います。そういう点で教育長の見解を求めていきます。

○議長（柚木毅） 教育長、どうぞ。

◎教育長（城山藤一） 議員のおっしゃるとおりであろうかと思っております。学力No.1プロジェクト研究委員会の基本的なテーマは、児童・生徒の知徳体の調和ある発展を願うということを中心に掲げておまして、そういうことに基づいた個々の施策をいろいろと考えております。先ほどから言っておりますように、今年度の成果をよく検証しまして、来年度に向けてまた改善すべきことは改善してこの施策を進めていこうと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

失礼しました。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） それでは、質問を変えます。

最後に、インターネットを利用した市民サービスの向上について質問をいたします。

まず、1つ目の図書館でのインターネット予約ですが、この件につきましては2013年

の6月議会で質問をしました。そのときの答弁では今後十分に検討したいということでありましたが、それ以降どのように検討されてきたのか、まずお聞きをします。

○議長（柚木毅） 答弁。

教育次長、どうぞ。

◎教育次長（榎田忠） 図書館でのインターネット予約につきましては、システムの導入について市民ニーズや図書の貸し出しの実態、他市の状況も確認しながら検討をしております。現在図書館で使用しているパソコンのOSがウィンドウズのXPであり、またシステムの更新時期でもあることから、現在のシステムを改修して新図書館管理システムを導入する計画をしております。改修後は図書の検索機能の向上に加えて、インターネットの貸し出しにも対応することとしております。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） されるということだと思いますので、しっかりPRもして市民サービスの向上につながりますようよろしくお願いします。

次に、スポーツ施設等の電子申請の実施について質問をします。

この件につきましても2012年の3月議会で質問をしました。そのときの答弁は、予約状況の公開や申し込みの試行など段階的な実施も視野に入れ、今後検討を行っていききたいというふうに市長が答えていますが、それ以降どう検討されたのかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 教育次長、どうぞ。

◎教育次長（榎田忠） スポーツ施設等の電子申請につきましては、その施設の予約システムとして岡山県の施設予約システムを共同利用するという方法があります。ただ、実施に際しては、市内在住者の予約受け付けの開始日と市外の方のそれが異なることや、窓口予約との重複、それから料金の収受とか減免申請など、いろいろ検討しておりますが解決すべき課題が非常にたくさんございます。他市の状況もいろいろ調べてまいりましたが、県内のある市なんです、電子システムの予約はあくまでも仮で、運用はしてるんですけど仮で、別途申請書を窓口提出するように求めているところが見受けられました。費用面でのことも検討いたしまして、システムの導入に対する初期費用、それからシステムの利用料を毎月払っていくという必要がございます。現在、スポーツ施設等に関しましては管理、運営に関する支出額が使用料の収入を非常に大きく上回っておりますので、その辺の費用対効果も十分に検証していく必要があるかと考えております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） わかりました。電子申請については費用も相当かかるんでしょから、すぐには無理にしても当面予約状況の公開ができないかどうか。今例えば天草公園の野球場を予約しようとするれば教育委員会に行くか、電話で空き状況を確認をした上で申請をしに行かなければなりません。そして、現在各施設の予約状況は金光も寄島も鴨方も紙ベースで管理をされておりますが、これを例えば庁舎内で今公用車とか会議室はデータで管理されてますよね。見ればすぐ利用状況がわかるというふうになってますので、こういうふうな格好で、市民はホームページから入れば各施

設の予約状況が把握できて、その上で教育委員会に行って申請をするというふうになれば非常に便利だと思うし、市の職員の方もそのほうが非常に使いやすいんじゃないかと思うんですけども、その辺のことはいかがでしょうか、お願いします。

○議長（柚木毅） 教育次長、どうぞ。

◎教育次長（櫛田忠） 予約状況の確認についての再度のお尋ねでございます。

予約の状況をもしホームページ等ですとなれば、今の紙でしてつやつやつをまた新たに職員がエクセルか何かで打ち込んでそれを載せていくという方法があるかと思いますが、それも事務の効率化からいくとちょっといかがなものかなと、今急なお尋ねですので思ったようにございます。

それから、先ほど申しました県のシステムの運用に関しましては、使うとなりましたら初期投資がやっぱりどうしてもかかりますので、システムについても予約状況だけを見るから値段が安く運用できるかというところでもなさそうでございますので、そこら辺はまた十分検討させていただきたいと思っております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 余り他の市町村を調べてませんが、余り紙ベースで施設の申し込みやキャンセルを管理するのは少ないんじゃないかと思うんですけど、これからは私も調べますし、引き続き議論をしていきたいと思っておりますが、このインターネットを利用した市民サービスの件で、市長の見解があればお願いします。

◎市長（栗山康彦） まず、図書館でのインターネット予約ということでございますけれども、図書館でのインターネット予約につきましてはこれまで図書の管理をコンピューターでいたしております。予約機能を追加することが可能であろうかと思っております。インターネットというのはいつでもどこでも24時間利用できる利点があり、来年度から図書館での本のインターネット予約を始めることにいたしております。これによりまして利用者の方の利便が向上するのではないかなというふうに思っております。

また、次のスポーツ施設でございますけれども、これは今次長が申し上げましたとおり、気持ちよく施設を利用していただくことも念頭に置きまして、インターネットが使えない方もいらっしゃると思います。そういったことも考慮しなければいけませんし、スポーツ施設につきましては、次長が申し上げましたように非常に高額な費用が新たにかかりますので、厳しい財政の中、費用対効果を十分に検討する必要があるというふうに思っております。

以上でございます。

（7番「ありがとうございました。以上で終わります」の声あり）

○議長（柚木毅） 御苦労さまでした。

ここで休憩をとります。

午前10時37分 休憩

## 平成26年第1回 3月定例会 - 03月20日 - 05号

平成26年第1回 3月定例会

平成26年3月浅口市議会第1回定例会会議録（第5）

1. 招集年月日 平成26年3月20日（17日目）

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 3月20日 午後1時30分

1. 議事日程

第1 委員長報告（質疑）

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

第2 議案討論・採決

議案第 1号 浅口市職員の定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定について

議案第 2号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例及び浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 3号 浅口市鴨方障害者共同作業所条例の一部を改正する条例について

議案第 4号 浅口市営駐車場条例の一部を改正する条例について

議案第 5号 浅口市営駐輪場条例の一部を改正する条例について

議案第 6号 モーターボート競走の施行について

議案第 7号 平成25年度浅口市一般会計補正予算（第4号）

議案第 8号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第 9号 平成25年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第10号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第11号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

議案第12号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算（第2号）

議案第13号 平成26年度浅口市一般会計予算

議案第14号 平成26年度浅口市国民健康保険特別会計予算

議案第15号 平成26年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算

議案第16号 平成26年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

議案第17号 平成26年度浅口市介護保険特別会計予算

議案第18号 平成26年度浅口市公共下水道事業特別会計予算

議案第19号 平成26年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算

議案第20号 平成26年度益坂財産区特別会計予算

議案第21号 平成26年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算

議案第22号 平成26年度浅口市水道事業会計予算

議案第23号 市道路線の認定について

議案第24号 市道路線の変更について

請願第11号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

第3 閉会中の委員会継続事件の申し出について

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 委員長報告（質疑）

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

日程第2 議案討論・採決

議案第 1号 浅口市職員の定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する  
条例の制定について

（原案可決）

議案第 2号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例及び浅口市職員等の旅費に  
関する条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第 3号 浅口市鴨方障害者共同作業所条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第 4号 浅口市宮駐車場条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第 5号 浅口市宮駐輪場条例の一部を改正する条例について

（原案可決）

議案第 6号 モーターボート競走の施行について （ 〃 ）

議案第 7号 平成25年度浅口市一般会計補正予算（第4号）

（ 〃 ）

議案第 8号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

（ 〃 ）

議案第 9号 平成25年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

（ 〃 ）

議案第10号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第3号）

（ 〃 ）

議案第11号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

- ( " )
- 議案第12号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第2号) ( " )
- 議案第13号 平成26年度浅口市一般会計予算 ( " )
- 議案第14号 平成26年度浅口市国民健康保険特別会計予算 ( " )
- 議案第15号 平成26年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算 ( " )
- 議案第16号 平成26年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 ( " )
- 議案第17号 平成26年度浅口市介護保険特別会計予算 ( " )
- 議案第18号 平成26年度浅口市公共下水道事業特別会計予算 ( " )
- 議案第19号 平成26年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算 ( " )
- 議案第20号 平成26年度益坂財産区特別会計予算 ( " )
- 議案第21号 平成26年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算 ( " )
- 議案第22号 平成26年度浅口市水道事業会計予算 (原案可決)
- 議案第23号 市道路線の認定について ( " )
- 議案第24号 市道路線の変更について ( " )
- 請願第11号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願 (採 択)

追加日程1 発議第3号 手話言語法制定を求める意見書について (原案可決)

日程第3 閉会中の委員会継続事件の申し出について (継続事件)

1. 出席議員 (4番欠番)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1番 伊澤 誠   | 2番 佐藤 正人   |
| 3番 竹本 浩司  | 5番 岡邊 正継   |
| 6番 平田 襄二  | 7番 桑野和夫    |
| 8番 加藤 淳二  | 9番 原 彰     |
| 10番 中西 美治 | 11番 柚木 毅   |
| 12番 藤澤 健  | 13番 青木 光朗  |
| 14番 大西 恒夫 | 15番 田口 桂一郎 |
| 16番 畑中 知時 | 17番 香取 良勝  |
| 18番 井上 邦男 | 19番 道廣 裕子  |
| 20番 高橋 範昌 | 21番 大西 洋平  |

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名（なし）

1. 欠席議員（なし）

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

|         |      |         |      |
|---------|------|---------|------|
| 市長      | 栗山康彦 | 副市長     | 田村諭  |
| 教育長     | 城山藤一 | 企画財政部長  | 秋田裕  |
| 生活環境部長  | 原田健次 | 健康福祉部長  | 襟立憲道 |
| 産業建設部長  | 松田勝久 | 上下水道部長  | 垣内長  |
| 金光総合支所長 | 河手秀夫 | 寄島総合支所長 | 應本秀文 |
| 教育次長    | 櫛田忠  | 会計管理者   | 筒井正和 |
| 総務課長    | 笠原浩一 |         |      |

1. 出席した事務局職員

|        |      |    |      |
|--------|------|----|------|
| 議会事務局長 | 小西通夫 | 書記 | 園部智  |
| 書記     | 小橋史明 | 書記 | 奥原貴子 |

午後1時30分 開議

○議長（柚木毅） これで質疑を終わります。

次に、民生常任委員会より報告をお願いします。

桑野委員長。

◆民生常任委員会委員長（桑野和夫） 民生常任委員会委員長報告をいたします。

平成26年3月14日金曜日午前9時30分から全員出席で開催しました。

本委員会に付託された議案の審査経過と結果については次のとおりであります。

1、浅口市鴨方障害者共同作業所条例の一部を改正する条例について。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、平成25年度浅口市一般会計補正予算（第4号）所管分について。

歳出の主なものは民生費、老人福祉費317万9,000円、障害者福祉費256万8,000円、児童措置費、減額の2,082万6,000円、衛生費で予防費、減額の2,000万円。歳入の主なものは民生費国庫負担金、減額の1,052万5,000円、衛生費国庫補助金、減額の305万5,000円であります。

また、民生費、衛生費で1億107万4,000円を繰越明許費とするものです。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3、平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について。

歳入歳出それぞれ3,954万1,000円を追加するもので、歳出の主なものは保険給付費2,709万8,000円。歳入の主なものは国庫支出金565万6,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

4、平成25年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について。

歳入歳出それぞれ1,590万6,000円を追加するもので、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金1,590万6,000円。歳入の主なものは後期高齢者医療保険料1,507万7,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

5、平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第3号）について。

歳入歳出それぞれ2,821万9,000円を追加するもので、歳出の主なものは基金積立金3,000万円。歳入の主なものは繰越金4,778万円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

6、平成26年度浅口市一般会計予算所管分について。

歳出の主なものは民生費、臨時福祉給付金給付事業1億525万5,000円、私立保育所運営委託事業4億1,299万4,000円、児童手当給付事業5億4,504万円、衛生費、子ども医療給付事業1億3,536万9,000円、西部衛生施設組合負担金1億5,109万9,000円。歳入の主なものは市税33億3,234万3,000円、児童手当国県負担金4億6,253万5,000円、保育所運営費国県負担金1億8,659万1,000円であります。

また、債務負担行為は塵芥収集業務の限度額を3億6,936万円とするものです。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

7、平成26年度浅口市国民健康保険特別会計について。

予算総額は46億6,288万円であり、歳出の主なものは保険給付費33億6,625万9,000円。歳入の主なものは国民健康保険税8億4,000万円、前期高齢者交付金16億4,513万9,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

8、平成26年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算について。

予算総額は4億7,984万3,000円であり、歳出の主なものは後期高齢者医療広域連合納付金4億7,129万1,000円。歳入の主なものは後期高齢者医療保険料3億5,810万6,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

9、平成26年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について。

予算総額は308万4,000円であり、歳出の主なものは公債費150万7,000円。歳入の主なものは貸付金元利収入294万9,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

10、平成26年度浅口市介護保険特別会計予算について。

予算総額は34億8,346万4,000円であり、歳出の主なものは保険給付費33億5,730万3,000円。歳入の主なものは介護保険料6億8,235万4,000円、支払基金交付金9億8,773万3,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

1 1、請願第8号国に対して最低賃金上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書について。

この件は慎重に審査する必要があるため、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

1 2、請願第11号手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願について。

平成26年2月4日に浅口聴覚障害者協会から提出のあった本請願書については、手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした手話言語法を制定する必要があるとの趣旨が適当であるため、採択することに決定しました。

1 3、陳情第15号安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情について。

この件は慎重に審査する必要があるため、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

1 4、陳情第16号介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情について。

この件は慎重に審査する必要があるため、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

1 5、意見書の提出について。

手話言語法制定を求める意見書、この件については本会議で関係する請願が採択された後、提出することに決定しました。

1 6、閉会中の継続事件について。

別紙のとおり8件を引き続き閉会中の委員会で調査することに決定しました。

以上、概要を報告します。

平成26年3月20日、民生常任委員会委員長**桑野和夫**。

○議長（柚木毅） 民生常任委員会委員長からの報告についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◆7番（**桑野和夫**） 発議第3号手話言語法制定を求める意見書について提案理由を申し上げます。

平成18年12月に採択された国連の障害者権利条約には、手話は言語であることが明記されています。障害者権利条約批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した改正障害者基本法では、全て障害者は可能な限り手話を含む言語、その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されると定められました。

手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした施策を講じる必要があるため、国に対して意見書を提出するものであります。御審議のほどよろしくお願いをいたします。